

1 計画案を修正する。					
連番	ページ	意見の要旨	回答	対応区分	対応方針
1	13	計画(案)を拝見しましたが、荻原市長が掲げるビジョン「健幸増進都市」について、どこに反映されているのかよくわかりません。市長のビジョンであるならば、もっとわかりやすく、はっきりと総合計画に記載した方がいいと思います。	市長が掲げるビジョン「健幸増進都市」については、施策番号14「健康の保持・増進」の主な取組で「健幸増進都市を目指し、地域・学校・職場などとの連携により、健康の保持・増進に向けた市民一人ひとりの意識の向上や行動の改善を促す取組を推進します」と掲げ、分野横断テーマ①のテーマ実現のための視点「健康と心の豊かさの推進」により反映しております。ただし、ご指摘のとおりより市長のビジョンを明確化するため、「計画全体に共通する取組」のひとつに加え、計画案を修正します。	1	計画案を修正する。
2 計画案に盛り込まれており、修正しない。					
連番	ページ	意見の要旨	回答	対応区分	対応方針
2	37	「介護予防を推進するとともに、医療、介護、住まい、福祉サービスなどを包括的・継続的に提供する体制を確立します。」について在宅医療を実施する医療機関数は充分とは言えないのが現状です。まずはそれぞれの専門職で在宅医療に関わる研修を積む必要がありますが、それに加えて多職種連携、つまり横の繋がりの強化を目的とした研修会の開催を要望します。コロナ禍ですので、オンライン開催も含めご検討をお願いいたします。	研修については、市内2カ所に開設しております「在宅医療・介護連携センター」で、医療・介護関係者の情報共有の支援及び支援関係者の研修等を行っています。今後も、多職種の連携強化を目指し、効果的な研修会等を実施していきます。	2	計画案に盛り込まれており、修正しない。
3	37	現在検討されているところではあると思いますが、介護認定を受けている方の訪問歯科診療をさせて頂いて、多職種との情報共有という面で、苦勞する場面があります。速やかに行う手段として、ご家族に間に入って頂き、担当医や訪問看護師と連絡を取り合うこともあります。地域包括ケアシステム構築の為、多職種連携情報システムが早急に必要であると考えます。よろしくお願いたします。	多職種連携情報システムについては、地域包括ケアシステムの深化、推進に非常に重要なものだと考えており、令和4年度中の導入を目指して、現在、多職種連携の橋渡しをするICTプラットフォームの構築に取り組んでいます。	2	計画案に盛り込まれており、修正しない。

連番	ページ	意見の要旨	回答	対応区分	対応方針
4	45	先般、市長あてに提言書も提出させていただきましたが、LGBTQをはじめとする性的マイノリティに対しても行政や諸手続き、補助やサービスを平等に対応し、同じ扱いをとることのできる多様性に対する具体的な施策を盛り込むべきであると思います。	人権問題の一つである性的マイノリティへの取組については、施策番号17の主な取組「家庭・地域・学校・職場などあらゆる場における、様々な人権問題や社会の変化に伴って生じてくる人権問題に関し、教育・啓発活動を推進します」に含まれております。 基本計画は、基本構想に掲げるまちの将来像や目標を達成するための必要な内容や施策の体系を明らかにするものであり、個別の人権問題は下位の方針や計画に記載し、具体的に取り組んでいきます。	2	計画案に盛り込まれており、修正しない。
5	54	災害発生に備えた関係機関との連携の強化こちらは現在も連携強化は進んでいますが、ICT分野においてまだ構築が完全になされてはおりません。ICTを使用した災害発生時の保健所を中心とした関連諸機関(医師会、薬剤師会、歯科医師会等)の連絡体制構築の強化を推進すべきと思います。	災害発生に備えた関係機関との連携の強化については、ご意見のとおり連携強化は進んでいますが、ICTの活用も含めて、長野市地域防災計画等に基づき、引き続き医師会・歯科医師会・薬剤師会等との連絡体制の強化を図っていきます。	2	計画案に盛り込まれており、修正しない。

3 計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。

連番	ページ	意見の要旨	回答	対応区分	対応方針
6	9	4 まちづくりの方向性 1市民の「幸せ」の実現について 計画文に、「市民個人や地域社会の「幸せ」の増進を図ることが重要です。」と書いている。市民の「幸せ」は、市民の「命・財産・生活」を保証して、はじめて市民の心の安全・安心を確保することができる。2019年台風19号の被災により、みなし仮設で生活していた被災者の方々を、2年の期間が来たからといって追い出して、なぜ市民の「幸せ」を実現することができるのか。市民一人一人の「幸せ」を実現するためには、そのための一つ一つの施策の実現をもって、徐々に積み重ねをしていかなければならないと考える。	応急仮設住宅は、災害救助法により、一時的な居住の安定を図ることを目的に供与され、その期間は2年以内となっています。また、対象要件に該当する世帯は、さらに供与期間を1年延長し、個々の住宅の再建状況を踏まえ対応しています。今後も被災者の方に寄り添い、個々の事情に応じた支援をしていきます。 計画案の修正はしませんが、今後の取組において参考とします。	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。
7	14	(2)長野市災害復興計画に基づく令和元年東日本台風災害からの復興 1安全・安心の再生について 計画文中には、「被災者の悩みや課題解決のため一人ひとりに寄り添った」と書いている。現状、みなし仮設の2年の入所期限を迎える一人一人の被災者に対して、本当に寄り添った施策を取っているのか？疑問が多い。	応急仮設住宅は、災害救助法により、一時的な居住の安定を図ることを目的に「当面の住まい」として提供しています。被災された方々が、一日も早く被災前の生活を取り戻していただけるよう、関係機関等と連携して、個別に支援を継続しています。 計画案の修正はしませんが、今後の取組において参考とします。	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。

連番	ページ	意見の要旨	回答	対応区分	対応方針
8	25	「主な取組」は総体的なものを指していると思うが、新しさを感じる具体策はどうか、夢を感じる施策として、仮称・長野市ギネスを設置し老若男女問わず参加できる多くのジャンルを設定し何でも一番と項目により最下位を競い合うようなユーモアを入れながらの施策をご検討願います。	施策番号1の主な取組「市民が市政に参加できる機会を充実します」及び「あらゆる機会を通じて市民ニーズを把握します」により、適格に市民ニーズを把握し、市民参加型の市政に取り組んでいきます。	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。
9	26	主な取組の中に、「地域を支える人材の育成と確保に取り組めます。」とありますが、現実問題として、人材確保自体が難しくなっています。もう少し具体的にどうしたらその取組みが出来るのかを表示すべきではないでしょうか。今更これを取組みとして掲げても同じでいつまでたっても進捗はないと思いますが。	「長野市都市内分権基本方針」において、新たな担い手が地域の役員やまちづくり活動に参画しやすい環境づくりを図っていくこと、また、女性が地域の役員やまちづくり活動に参画しやすい環境づくりを図っていくこととしています。 計画案の修正はしませんが、今後の取組において参考とします。	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。
10	27	現在公共施設の統廃合等により計画的な見直しが進展しているなか、これからは官民一体となった取組も視野に入れていくべきではないか。その為にもPPPやPFI等の手法も模索すべきではないか。	公共施設の総量縮減や長寿命化に向けた公民連携の取組については、施策番号3の主な取組「民間の資金、技術的能力、経営能力などを積極的に活用します。」により進めていきます。 計画案の修正はしませんが、公民連携の手法でありますPPPやPFI手法については、個別計画であります「長野市公共施設等総合管理計画」等に基づき導入していきます。	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。
11	29	特にコロナ禍によってICTの利用及びデジタル化の推進速度が速まり、利用頻度も多くなったと感じています。市民サービスのデジタル化を施策として掲げられていますが、それを推進する職員の方々のITスキルの向上や、行政で使用する機材の充実、また、公共施設(ホールなども含めて)でのWIFI設備の充実は盛り込むべきであると思います。未だに台帳のようなもので予約管理を実施していたり、ZOOMセミナーやプレゼンテーションの機会を市の管轄するホールで設けた際にネット環境が充実していないために個々で機材を持ち込まないといけない、そもそも電波が入らないので会場選定から外れるなどがありました。是非、そういったICT活用における基盤整備も視野に入れていただきたく思います。	「市民サービスのデジタル化を推進する職員のITスキル向上」や、「行政で使用する機材の充実、公共施設でのWi-Fi設備の充実」については、総合計画後期基本計画の個別計画であり令和3年度未策定予定の長野市行政DX推進計画において、職員のDX研修の継続的な実施や、公共施設のWi-Fi環境の設置などの基盤整備について推進・拡充していくことを予定しています。 計画案の修正はしませんが、今後の取組において参考とします。	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。

連番	ページ	意見の要旨	回答	対応区分	対応方針
12	36	<p>「目指す状態」「主な取組」は総体的なものを指しているが、具体的に何をどう活動するかのイメージを示して頂きたい。我がNPOは家にひきこもりがちな高齢者のつま先を活動の場に向けての施策として、</p> <p>(例)はつつ体操・野菜市開催によるふれあいの場の設置・健康マレットゴルフでフレイル予防・健康マージャン(30分で休眠)・夜間パトロールで安全なまち・駅前花壇の管理・区内5公園の清掃・進入禁止道路への注意啓蒙・ゴミ出しの出前回収・不燃物収集日のチェック支援・子供の見守り 等々10部会で活動しており、自分の希望する場所へ参加している。</p> <p>ボランティア活動とフレイル予防を兼ね多くの会員(75名)が活動しています。</p> <p>事業の目標として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の助け合いが自然にできるまち ・高齢者と地域との絆を強くする ・自分のまちと健康は自分で守る ・COOL CHOICEの活動を常態化する 等です。 <p>提案として ボランティアポイントを設定し表彰制度と近未来利用出来仕組みを作りボランティア活動を推進を図って頂きたい。</p>	<p>「高齢者の社会参加と生きがいづくりの促進」については、高齢者がボランティア活動を通じて、自ら介護予防や生きがいづくりに取り組めるよう、地域での社会活動や就労を支援することにより施策を進めていくことにしています。</p> <p>具体的には高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進を目的として、老人福祉センター運営事業、老人クラブ活動促進事業、公民館における世代間交流事業などを実施しています。</p> <p>また、高齢者の就労支援を目的として、生涯現役促進地域連携事業により、各種セミナーなどを開催しています。</p> <p>なお、ご提案の「ボランティアポイントの設定によるボランティア活動の推進」については、現時点では考えておりませんが、「表彰制度」はボランティア活動の意欲向上を図るための手段の一つとして、今後の取組の参考とします。</p>	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。
13	44	<p>福祉医療対象者を現行の15歳(中学3年生)までから、18歳(高校3年生)までに拡大していただきたいと思えます。</p> <p>長野市では、中学卒業と同時に福祉医療給付金がなくなってしまい、その結果、高校生に代表されるこの世代での受診控えが生じていると、常日頃から感じています。</p> <p>歯科医院が、お口や全身の健康への関心を高める役割を担っていることを考えると、受診控えは、将来の不健康につながりかねず、早急な対応が必要と考えます。</p>	<p>子どもの福祉医療費は、子育て世帯への支援として重要な取組の一つであると認識しておりますが、限られた財源の中で安定的な運営を行い、持続可能な制度とする上で、対象範囲の拡大につきましては、慎重な検討、判断が必要であると考えています。</p> <p>計画案の修正はしませんが、今後の取組において参考とします。</p>	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。
14	57	<p>高齢歩行者の横断中の死亡事故が今年も発生しました。夕暮れが早くなる10月から12月は高齢歩行者の死亡事故が一気に増加します。</p> <p>そこで、交通安全協会は、街頭に出て、早めの点灯と着けよう反射材の呼掛けを行っています。</p> <p>また、毎年高齢横断者の死亡事故や重傷事故が発生している県道長野・真田線に「防ごう夜間の交通事故」の全反射の大型看板を立てようと計画中です。</p> <p>お年寄りが車にひかれられないような安全意識の醸成と実践について強力な取組みが必要と考えています。</p>	<p>高齢歩行者の交通事故防止対策については、施策番号25の主な取り組み「世代に応じた交通安全教育を進めます。」により進めていくほか、夜間の歩行者事故防止対策として夜光反射材着用促進啓発活動などを推進します。</p> <p>計画案の修正はしませんが、今後の取組において参考とします。</p>	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。

連番	ページ	意見の要旨	回答	対応区分	対応方針
15	65	「学び」もアミューズメントの一つという視点で、「どこで学ぶか」「誰から学ぶか」の幅を広げる必要があると感じる。公民館や生涯学習センターでの開催回数では、インディケーターにならないのでは？(一部のシニアリピーター向けのコミュニティとしては機能するだろうか) 市が公認、支援する民間のセミナー、スクールを増やしてはどうか。	市では地域づくりのため「地域の学び」講座を重点項目として全館で実施することとしており、その講座開催数を統計指標としているものです。学びの幅を広げる取組については、現在策定中の第三次長野市生涯学習推進計画において、大学などの教育機関との連携により、市民の多様な学習要求に対応する学びを提供することを計画に掲げています。 民間のセミナー、スクールの公認・支援については、申請のあったものに対して名義後援の形で支援を行うほか、セミナー等の情報については、情報を収集し、市民への提供を行っており、これらの取組についても、上記と同様に計画に掲げています。 計画案の修正はしませんが、今後の取組において参考とします。	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。
16	69	「主な取組」の最後の項目(スポーツ施設を計画的に整備・改修するとともに、適切な管理運営を行います。)について 今後のスポーツ施設は、統廃合を前提とした整備や改修になると考えられるが、災害のリスクが大きい河川敷の運動場のあり方を再考し、特に千曲川水系については堤内地への移行を計画してほしい。	近年、集中豪雨や台風の影響による河川の水位上昇などで、河川敷の運動場等の使用制限の機会が増加し、市民等が行う屋外スポーツ活動が制限される状況が多くあることから、河川の増水などの影響を受けずに屋外スポーツが実施できる環境整備を検討していきます。	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。
17	69	「主な取組」の最後の項目(スポーツ施設を計画的に整備・改修するとともに、適切な管理運営を行います。)について 限られたスポーツ施設を有効に活用するために、夜間照明設備を整備し使用できる時間を増加させることも検討してほしい。	勤労世代のスポーツ実施率向上のためにも、屋外運動場の夜間照明施設整備について調査研究していきます。	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。
18	73	多様性を認め合う、多文化への理解、に関する取組み内容が「取組み内容」になっていない。醸成する⇒どのように？また、インディケーターのSNSフォロワー数についても、140人増えて何がかわるのだろうか？市の運営するSNSコンテンツは、貧弱な印象がある。内製化できないのであれば、お金をかけてきちんと作りこみし、市民が活用するものを作るべきだと思う。	基本計画については、市の全体的な方針を示しており、具体的な取組み内容については実施計画で示すとともに、各事業で取り組んでいきます。 SNSでは市内在住の外国人等を対象に情報を発信しているため、目標値を1,000人に設定しております。また、できるだけ多くの方々に情報を届けることができるよう、SNSの運用と併せて国際交流コーナーのホームページでも生活情報等を発信しています。 計画案の修正はしませんが、情報内容の充実など、今後の取組において参考とします。	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。

連番	ページ	意見の要旨	回答	対応区分	対応方針
19	83	<p>「分野6 政策3特色を活かした商工業の振興 施策2 地域の特性が光る商工業の推進」について 須坂市にできる大型商業施設について、長野市が長年行ってきた大型商業は市内に必要なという姿勢の商工業の振興政策の失敗例だったのではないかと。 長野圏域の発展のため、圏域内に大型商業施設ができることは消費者として大変喜ばしく、多くの長野市民も買い物に出かけることでしょう。同時に長野市の商工業の魅力の低下、長野市内での消費の低下につながることは目に見えている。 周りの都道府県庁所在地や、長野県内の中信・東信地域では、大型商業施設との共存がなされ、地域との連携等を通じ、商店街との相乗効果が生まれて、人口定着、賑わいのある街づくりができていく地域が多くある。そういった成功地域の例をもっと学び、大型商業施設は悪であるような長野市の姿勢を今後転換していく必要性を強く感じている。 大型商業施設について市政のあり方をもう一度再考し、市内はもちろん圏域外の広域的な集客のできるような大型商業施設を誘致すべきであると強く求める。</p>	<p>大型商業施設の出店については、地権者や地域住民の皆様との合意形成と、出店者等のマーケティングや経営戦略によるところが大きく、民間主導で行われているのが実状です。市としては、主な取組「多様な地域の特性に応じた商業環境の形成を推進します」により広く事業者全般に対し、商業環境の整備や事業支援等の様々な施策を展開してまいります。そのため、計画案は修正しませんが、ご提案は、貴重なご意見の一つとして今後の参考とします。</p>	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。
20	89	<p>「都市機能誘導区域」と「居住誘導区域」の概要と違いを明示してほしい。「長野市都市計画マスタープラン」「長野市立地適正化計画」との関係や、地域別のもっと分かり易い都市政策を示してほしい。</p>	<p>「都市機能誘導区域」と「居住誘導区域」の概要は、巻末の用語解説一覧に記載しています。地域別の都市政策に関しては、長野市都市計画マスタープランで示しています。</p>	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。
21	93	<p>運営に当たっては各種縛りがあると思いますが、住民目線での意見を述べさせていただきます。 川中島地区を走る循環タクシーは高齢者等の足の確保として大変重要としています。当NPOで令和元年と2年に地区住民の方に体験乗車を計画し40名が5日間に渡り体験乗車しました。アンケートの中で①ほとんど乗降客の無いバス停を回っているがコースの見直しをしたらどうか②循環タクシーは体の不自由な方も多く乗降時の負担軽減のためローステップが必要③コースは川中島地区内循環の他長野駅行きも設定してほしい 等の意見が多くありました。 よって、 ・循環タクシーの運行ルートの見直し ・循環タクシーの長野駅行きの設定 の検討をお願いします。</p>	<p>乗合タクシーは、運行当初に地域と相談しながらルートを設定しております。見直しが必要な場合は、交通空白地が発生しないよう調整をしながら設定する必要があることから、地域の実情を把握する中で検討してまいります。 また、乗合タクシーは、空白地域をカバーするための地域の足として低額料金で設定しております。そのため、長野駅行きの設定については、他の公共交通機関へ接続が可能であることから、設定はしないこととしています。</p>	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。

連番	ページ	意見の要旨	回答	対応区分	対応方針
22	94 113	JR・しなの鉄道三才駅の広場は、先頃長野市(維持課・東部土木事務所)が緊急に測量を行い、通路や駐車場の線引きを行う模様であるが、シーズンともなれば、3歳児の記念撮影の観光客が常時数十台も訪れ、バスやタクシー・子ども等の出向いの車等でごった返し、危険な状態です。現在の自転車時代のままの、駐停車数台のみの広場では対応が困難なので、出来る範囲での、拡幅をお願いします。	駅は交通ネットワークに大切な拠点であることから、施策番号55の主な取組にあるように「公共交通路線相互の乗り換えなどの交通結節機能の向上」を掲げておりますので、機能向上への取組の中で参考とします。	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。
23	105	ここに記載されていることは、長野市の概要であって、“らしさ”や”強み“というには特徴づけが弱いと思う。実際に市の職員の皆様の視点で、例えば長野県外の地方都市と比較した強みは？と聞かれて交通アクセス以外に即答できているだろうか？市民の地元愛着醸成の観点も、他都市からの移住促進、関係人口促進の視点でも、「長野といえば〇〇だよね」の共通認識(まずは内側から)を整えることを優先してほしいと思う。 長野市の特徴づけとして望ましいコンテンツ ・スポーツが盛ん(今後の実績が必要) ・健康と食(発酵料理や薬膳・精進料理等) ・起業しやすい環境(特にスモールビジネス、女性の起業) 現在推進されているスマートシティ構想は将来的に認知度の高いコンテンツになればいいなと思いますが、そのベースに上記のような、長野市の資産、遺産に基づいたシンボルがあると良いと考える。	4 時代の潮流と長野市らしさ(強みと可能性)については、基本構想部分となり今回見直しはしませんが、今後の取組において参考とします。 長野市らしさの共通認識を整えることについては、本計画の施策番号1「市民とともにつくる市政の推進」の主な取組「世界のナガノ」の知名度を活かしたシティプロモーションにより国内外に向けて魅力を発信するとともに、都市のブランド価値向上に取り組めます」により進めていきます。 また、本市を特徴づけるコンテンツの醸成については、分野横断テーマの実現及びスマートシティの推進などにより取り組んでいきます。	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。
24	89 122	進めるべき政策1の中に、次の追加をお願いします。 「必要に応じ都市計画区域の見直しも行います。」 ※JR・しなの鉄道三才駅周辺は、長野駅迄10分の好立地なのに一度も見直しもなく、60年間そのままです。 長野市には、鉄道駅が8つ(篠ノ井・今井・川中島・安茂里・長野・北長野・三才・豊野)がありますが、3番目に多い1日3,000人もの乗降客があり、本来なら低層ビルや、生活拠点があっても不思議ではありません。 国立高専・清泉大学短大・市立長野等の学生が多いのではありませんが、勤め人・地域住民・観光客があるのに、駅前・駅周辺とは思えない閑散たる状況は、周辺が調整区域・第一種低層地域のためです。 「長野市都市計画マスタープラン」「長野市立地適正化計画」が絵に描いた餅と終わらせないためにも、周辺一帯を、せめて住居地域にして欲しい。近年、市民病院や北部スポレクの開園も影響しているのです。	進めるべき政策については、現在策定中の後期基本計画ではなく、基本構想に含まれており、今回基本構想の見直しはしません。 ただし、都市計画の見直しは、政策を実現させるための手法のひとつになりますので、計画案の修正はしませんが、今後の取組において参考とします。	3	計画案は修正しないが、今後の取組において検討又は参考とする。

5 その他(状況説明など)

連番	ページ	意見の要旨	回答	対応区分	対応方針
25	34	<p>主な取組の中で「子育てを支える教育・保育の質や職員の力量の向上に取り組めます。」との文章があります。</p> <p>正にその通りと思いますが、保育の質や職員の力量の向上を上げるには、職員の給与面の改革が必要ではないでしょうか。他業種と比較しても低いと言われていています。この辺りをどう取り組んでいくかが課題となるはずです。</p>	<p>国は、令和4年2月から保育士等の給与収入を引き上げるための措置を行うこととしています。</p> <p>本市においても国の事業を活用し処遇改善を図っていきます。</p>	5	その他(状況説明など)
26	71	<p>提言ではないが、ここまで関心が低い理由に関する市の分析が聞きたい。(現状値に対しての目標値が高い事から、かなりの自信を感じるため)</p>	<p>現状値については、令和2年度のコロナ禍での実績値です。令和3年1月に市内3000人を対象に実施した「長野市スポーツ推進市民アンケート」では、本市をホームタウンに活動する地域密着型プロスポーツチームの認知度を調査したところ、AC長野パルセイロが95.5%、パルセイロレディースが79.3%、信州ブレイブウォリアーズが80.2%、ポアルース長野が19.0%と、認知度が比較的高い結果が出ています。</p> <p>近年、各試合について、SNSやインターネットによるライブ配信が普及していますが、各チームの知名度を活かして、ホーム会場での観戦や応援に繋げ、アフターコロナも見据え、交流人口の拡大推進に一層取り組んでいきます。</p>	5	その他(状況説明など)
27	103 107 108	<p>平成31年以降の年号は、西暦の方がよいが、和暦の方は「令和・R」に直した方がよいと思う。「平成38・H57」とかは、表中の想定だからと云えども、最早あり得ないのですから。</p>	<p>ご指摘いただいた箇所は、現在策定中の後期基本計画ではなく基本構想の部分になりますが、令和で表記すべきものについて修正します。</p>	5	その他(状況説明など)